

～放課後等ディサービス&ことば音楽療法～

多くの障害児が通う放課後等ディサービスは、ここ数年で施設が増えました。地域によっては、子どもさんの獲得競争が激しくなり、一部には利益優先の事業者もあり問題になっています。さらに今年4月には報酬の改定があり、2割の事業所が運営に支障が出てきました。利益追求とは関係なく、障害児に真剣に向き合いながら、子どもの自立のために頑張ってきた事業所にも影響が出ているようです。

発達支援協会にて『ことば音楽療法』を学ばれた方の約6割ぐらいの方が放課後等ディサービスの仕事に携わっています。改定に伴い、事業所にしわ寄せがきて、スタッフの削減や活動の内容変更等で通う子どもたちに影響が出るようであってはいけません。

子どもの成長はことばの成長といわれるぐらい重要な療育です。施設に通う子どもたちの5～7割がことばに悩んでいるのが実情です。活動内容の変更などで『ことばの音楽療法』の活動が無くなることのないよう、指導者は子どもにとって大切な療育であることに自覚を持ち、子どもたちとしっかり向き合って取り組む姿勢が大切だと思います。そして少しずつでも結果を出していくことです。子どものことばの成長が、ひいては『ことば音楽療法士』の職域が広がっていくことにも繋がっていくと思います。

【放課後等ディサービス】

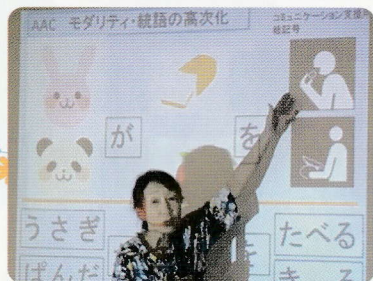
障害福祉のひとつで、6～18歳の障害児が放課後や長期休暇などに通う施設。全国に約1万1000カ所あり、約17万人が利用する。自閉症などの発達障害や知的障害のある子どもが中心で、生活能力向上のための訓練などを通じて自立を支援する。

INDEX

- 放課後等ディサービス&ことば音楽療法・・・1ページ
- 第6回 日本ことば療法学会の報告／堀田喜久男・・・2ページ
- 「背中を見た子は」／横浜支部長 高橋亮太郎・・・3ページ
- 楽しいことは成長の一步／松尾範子・・・4ページ
- 音楽が持っている力を子供たちに届けたくて／浅岡由希子・・・5ページ
- 子育てからのヒント／小林紳一 ● 療育教材2018年上期ベスト3・・・6ページ
- <コラム13> 穴戸理恵 ● 新刊書籍『知育音楽あそびうた』・・・7ページ
- 認定校・認定教室・・・8ページ

第6回 日本ことば療法学会 IN 東京

日本ことば療法学会 委員長
堀田 喜久男



2018年6月9日・10日（土曜日・日曜日）に東京都で第6回『日本ことば療法学会』が開催されました。

1日目（6月9日）は講習会で第1講は「ことばの育て方 前半」言語聴覚士・臨床発達心理士の徳田和恵先生の講習でした。

第2講は「コミュニケーションをとれるということ」と題して予防医学心理学（楽）副代表・臨床心理士の後藤浩子先生の講習でした。

第3講はことば音楽療法「日本語の音楽療法 前半」と題して日本ことば療法学会委員長の堀田喜久男先生の講習でした。

2日目の6月10日は第6回日本ことば療法学会で基調講演は星槎大学 特任講師（学校心理士）星槎名古屋中学校 校長 安部雅昭先生の『発達障害児者への自立に向けた支援 ～子どもの味方になる見方～』と題しての講演でした。

次の講習は社会福祉法人みなと舎 常務理事 森下浩明先生の『こどもたちの発達と支援者の役割』と題しての講習でした。

シンポジウムは『話す喜び 話せるちから』と題して

- ・ さゆり音楽院 主宰 土田 靖子 先生
 - ・ 言語聴覚士、臨床発達心理士 徳田 和恵 先生
 - ・ 株式会社キートン 代表取締役 高橋亮太郎 先生
 - ・ 一般社団法人発達支援協会 理事長 堀田喜久男 先生
- による発表・討論がありました。



研究発表

- ①は『ことば音楽療法と視覚教材』と題して
イルカ児童園勤務 児童指導員、相談支援専門員 広井真奈さんの発表がありました。
- ②は『個人セッション4年目の歩み』と題して
音楽療法 あいうえお教室運営 嬉 利恵さんの発表がありました。
- ③は『発語を促すものは何か？』と題して、日本音楽療法学会音楽療法士
神奈川県精神医学会会員 専門健康心理士 吉池幸子さんの発表がありました。

大会の終了後に『日本ことば療法学会』の総会があり終了しました。

背中を見た子は

横浜支部長 高橋 亮太郎

今年も夏がやってきます。中森明菜の歌に「恋も2度目なら…」とありますが、夏は何十回経験しても暑い。経験というのは年齢とともに増えますが、日本は基本的に儒教の国でもあり人はその厚みに敬意を払います。古来から高齢者は一族や地域社会から一定の尊敬を集めてきました。

ところが最近、モリカケ・公文書改ざん廃棄・悪質タックル指示など、年齢を重ねしかも社会的地位の高い政治家、官僚、大学関係者などのウソつきが横行して、オジサン世代としては次代を担う若者に申し訳なく感じます。

これらの答弁に限らず私は車の移動中にあのつまらない国会中継をラジオでよく聴いているのですが、映像に気がいかない音声だけだといわゆる官僚答弁の凄さがわかるのです。要は「答えたくない質問には別のことを延々としゃべり倒してケムにまく」という処世術です。それが出来る素晴らしい頭脳には感服しますが、できればそれを自己保身と組織の為ではなく国民のために使ってほしかった。

くだんの改ざん・廃棄の官僚は不起訴となりオトボケ勝ちとなりました。こうした風潮はトレンドなのか、私の近所でも県の銘木100選の1つ、東海道の巨大なモチノキが白昼堂々と交番の目の前で切り倒されました。犯人は巨木の周辺宅地を開発する業者。大きな銘木プレートも在りましたが、取調べでは「そんなもの気づかなかった」。処分はなんと罰金5万円で、代わりに億単位のカネを得たわけですから、これもやったもん勝ちですね。

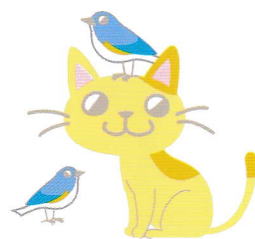
アメフト問題もスポーツ評論家玉木氏によると、大学の体育会の精神的支柱のベースには昭和の時代から指導にあたっていた日本陸軍の精神が打ち込まれてあり、それが不文律のように脈々と受け継がれていて今回のような事件の温床になっているそうです。財務省も旧大蔵省から名前は変わってもその体質は変わっていないと言われることから、公文書の問題もその根は深いのでしょうか。

熱心で真面目な人ほど自分が教えられたように教えてしまうことで、良いことも悪いことも後世へ継承してしまうのが時代によって社会や組織の病巣となるのかもしれませんが。虚偽答弁・隠ぺい工作・パワハラ・責任転嫁・雲隠れ…。次元は違いますが、私たちも口ぐせや振る舞いを子どもや後輩に観察されていて驚いた経験はありますね。良くないことも大人や先輩から学んでしまう。私もそう知りながらいまだに家で「後でやるよ～」と言ってずっとやらなかったりします。セッションでも「ルールはちゃんと守ろうね～」なんて言うとおいて、急いでいると小学生の前で赤信号を渡ってしまい、後でちょっと恥ずかしかったりします（汗）。怖いのは、こういうことも前出のように「やったもん勝ち～」と子供たちが学んで次の社会のスタンダードになり、ある日大きな事件の原因になることです。これはポイ捨て等の社会マナーや介護なども同じ。

ウソつきもオトボケも、自分のやることなすこと未来の社会のありかたにつながっていずれ自分と子孫に戻ってきます。ニュースのたびに、これを見て子どもや学生は何をどう学ぶのだろうと考えてみると、次世代の育成に少なからず関わっている大人としては責任の重さを感じるこの頃です。（神奈川県）

【楽しいことは成長の一步】

ことばの♪パッソ♪ 松尾 範子



‘ピンポン’ 今年一年生になったばかりのA君が私の教室に来ました。姿は見えません。私が表に出てくるのを待っているのです。A君は靴をポンと脱ぎ捨て中に入ってこようとします。そこで私が「♪右の靴はここ♪左の靴はここ♪」と何回か歌うと、きちんと靴を揃えてくれるようになりました。理解力はあるものの、指示に応じることが難しいA君。短文中で最小限の会話しかしませんが、セッションを重ねていくうち、数に興味があるのでは、とを感じるようになりました。そこで、提示したカードの数字と合わせて10になるように50玉計数器を使いながら、正しい数字カードをとるというゲームをやってみることにしました。するとA君は夢中になって取り組んでいきました。その結果、年長さんの時には繰り上がりの計算もできるようになり、本人もご家族も‘できるんだ’ ‘わかるんだ’ と自信がついていったようです。

A君は「あっちゃんあがつく」も大好きです。一緒に歌うことはありませんが、お母様からこの絵本をほかの場所で見つけ、小さな声で歌っていたと聞いたときはとても嬉しく、積み重ねの大切さを改めて痛感しました。

私は教室の他にも就労支援施設にも勤務しています。その利用者様が買い物でお釣りの計算に困っていましたが、就職目前だったので、今後苦勞するのでは思いセッションをしてみました。すると難なく10の概念を理解してもらえたのです。しかし支援終了間近だったので1回しかできず、お母様から「もっと早くこの療法に出会いたかった」と言われたのが心残りです。

このように子どもも大人も楽しく学べる「ことば音楽療法」に出会えたのは、工藤先生（福岡支部長）のセミナーに参加したことがきっかけです。

これまでの経験を生かし、社会に貢献できるものはないだろうかと悩んでいた私にとって一筋の光が見えたようでした。そこで早速、堀田先生に講義をお願いし、先生の温かくすべてを包みこむような、心に届くセッションにまた感動させて頂きました。

私も心に届くようなセッションで発語を促し、たくさんの笑顔に出会えるよう、これからもスキルアップをしていきたいと思っています。

（福岡県）

今まで受講したくても遠方のため、ためらっていた方へ朗報！

『ことば音楽療法』の通信・通学コースのスクーリング受講地が増えました。

- 神奈川県（新） ● 千葉県（新：11月より） ● 愛知県（名古屋市内・三河地区）
- 大阪府（大阪市内・東大阪） ● 福岡県 ● 兵庫県（新：11月より）

ことば音楽療法士の案内書を希望される方は

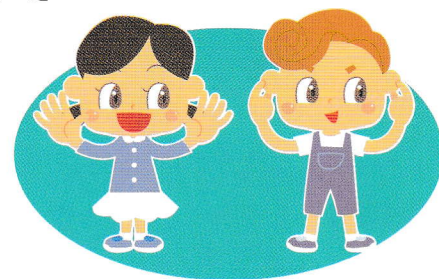
電話：052（505）5255 JHTA内 メール：takada@aroma-nagoya.com



音楽が持っている力を子供たちに届けたくて ～ ことば音楽療法に関して ～

きらめき音楽空間☆R I N R I N

浅岡 由希子



私は、愛知県岡崎市で、児童発達支援・放課後デイサービスを行っている「きらめき音楽空間☆R I N R I N（代表：長坂利永子）」にて、ことば音楽療法士・児童指導員として活動しています。

きらめき音楽空間☆R I N R I Nは、音楽療育に特化した児童デイサービスを軸にしています。言葉が全く出ない子、言葉が出始めた子、発音が不明瞭な子と様々なお子さんが多く利用しています。グループレッスンでは、集団での参加意識を高め、体の部位や行動と言葉の一致を目指すために、多くの玩具で品数を取りそろえ具体物を中心に、数え歌などを学んで発語を促します。

セッションを積み重ねていくうちに、模倣することが少なく、マラカスを持つことすらしなかった子が体でリズムをとるようになっていたり、ピアノの音に合わせて楽しくマラカスを打つことができるようになっていたり、挨拶ができるようになっていたり少しずつできることが増えていきます。そして、リズムに合わせて言葉が少しずつ出てくるようになっていきます。そんな姿を目にした時には、子供たちが少しずつ確実に言葉を習得しているんだなと実感しています。

お子さん一人一人に合わせた指導を考えるのは大変難しいですが、発語をし始めた時の喜びは何ものにも代えがたいほどの感動です。

言葉を獲得するには、シンプルで実践しやすく効果的な療法なのだと思います。

音楽の力とは、何でしょう？

リズムに合わせて体が自然に動いたり、自然と歌いだしたりと不思議な力を持っています。見て、聴いて、触れて、感じて・・・この延長に発語があると信じています。

個人差はありますが、発語のセッションを受けて頂いたお子さんに良い変化が表れているのを実感していますので、たくさんのお子さんに、「ことば音楽療法」を通して、音楽の力を届けていきたいと思っています。

今後も堀田先生の教えを基に、子供たちにわかりやすい伝え方を工夫し、指導者としての技術力を高めていきたいです。そして、子供たちの発達支援のお役に立てるように、これからも活動を続けていきたいと思っています。（愛知県）



子育てからのヒント

千葉ことば音楽教室 主宰 小林 紳一

堀田先生のもとで勉強をさせていただき、今年2月に千葉県習志野市で「千葉ことば音楽教室」を始めることになりました。5月現在までに十数組程のお子さんと親御さんが教室に足を運んで下さっております。その中でも就学を控えているお子さんや4月に小学一年生になったお子さんが多く訪れます。私の一人息子（ダウン症男児）もこの春に小学一年生となり、小学校入学が近づいてくるとお子さんのことばの発達に親として心配になる気持ちが良く分かります。自閉症児やダウン症児など障がいは様々ですが、何だか自分の子どもにセッションをしているような気持ちになることが多々あります。

そして教室に通ってくるお子さんと親御さんからは、私自身が沢山の事を気付かされ考えさせられます。その中の一つに「お子さんのことばが育つ芽（きっかけ）を私たち（親、支援者、療法士・・・）が摘んでしまっていないか」ということがあります。意思伝達手段である「話す」は、話す必要があるから話す訳なので、セッションにおいては意思伝達を要する状況をより多く作る工夫も大切だと考えています。

以前、自分の息子の前に複数の絵カードを並べ、私が「これなあに？」と言ってカードを指差し、「くつ」などと息子に答えさせるような遊びをしていた時のことです。何枚かのカードでやり取りをした後に、今度は息子が質問者側をやりたがり、私が息子の指差したカードに対し答えることになりました。私はわざと間違えた答えをもっともらしく言い、息子の反応を伺うと、ちゃんとことばにはなっていませんが懸命に息子は手を左右に振り、“ちがうちがう”といった仕草をし、それこそ先ほど息子が3音節の答えをまるで1音節かのように答えていた同じカードを、今度はしっかり音節分解させ各音節も先ほどより明瞭度が増した言い方で、思いっきり私の間違いを訂正してきました。その時の息子は必死になって私に答えを伝えようとしていました。こんな出来事も今の私のセッションにとってはとても良いヒントとなっています。お子さんの「伝えたい」という気持ちを大切に、またその気持ちをより引き出せるような療法士でありたいと思います。（千葉県）

きらきら言音堂

検索

2018年度上期・療育教材ベスト3

2位

商品番号▶S100 あっちゃんあがつく
絵本&たべもの歌CD &たべものかるたセット

価格：6,200円(税込)



3位

商品番号▶S104 価格：6,700円(税込)

マッチングカード 4種類セット



ひらがな・カタカナ・ひらがな濁・半濁音・よう音<全298枚>

1位

商品番号▶E716 オノマトペカード

- 全6種類
- オールカラー
- ・乗り物(10枚)
- ・自然(8枚)
- ・動物(23枚)
- ・部位(9枚)
- ・表情(6枚)
- ・遊び(14枚)

70枚 厚紙使用



- 大判A4サイズ 8,500円(税込)
- 個人セッション専用サイズ(19.6cm×14.7cm) 4,000円(税込)
- 携帯用 ハガキサイズ 2,500円(税込)

コラム13

穴戸 理恵

子どもはおもちゃが大好きである。キャラクターのものは持つことでヒーローやヒロインになりきってしまうアイテムであり、ゲーム、パズル、人形、ぬいぐるみ、ブロック、積み木など実に種類も多様である。

子ども向け雑誌の付録なども、よく考えられており、作って置いておくと幼児、や小学生などは夢中になって操作し、遊びだす。その際、遊びから促されるひとりごとや会話も多くなる。

モンテッソーリ教育の教具やフレーベルの教育玩具「恩物」を活用した教育はよく知られているが、操作や工夫などから発達を促すとともに、また発達の遅れや発達段階を知る手がかりにもなり得る。興味を持ち、集中し、自発的な活動がなされていく。子どもは遊びの中で成長していく。手作りのおもちゃを人数分作り、子育て支援の現場や音楽療法の集団セッションでプレゼントし、遊んでもらうことがある。おもちゃによって操作が異なるので、いろんな種類のもを活用するようにしている。独楽は指先、笛は息や唇、左右の手がそれぞれ違った操作で一度に行い動かすもの、手を放すタイミングがいるものなどがあり、はじめはうまく遊べなくても試行錯誤し、楽しくできるようになっていく。

ことばの音楽療法（堀田メソッド）には、たくさんの玩具や教具が登場する。様々な種類のマラカスに子どもは夢中になり、遊び、手に取り、目で色や形を観察し、感触、マラカスの音など、たくさんの感覚を使いつつ、名称、形容詞、記憶の獲得をしながらことばが促されていく。そして具体物の認識がなされていく。また数の学習では10の仕切り容器につまんで物を入れることは指先の巧緻性も育てていく。ホワイトボードに消防車が10台並ぶのもわくわくする。子どもたちはとても喜ぶ。やはり素晴らしい療法である。（愛知県）

お知らせ

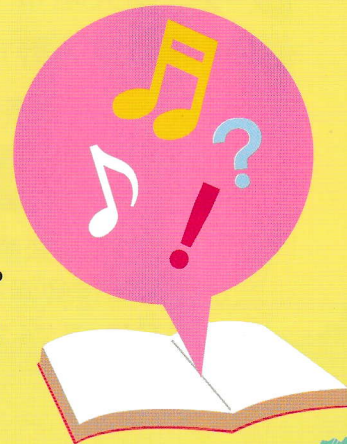
9月発行(予定)新刊書籍！

『**知育音楽あそびうた**』 穴戸 理恵 著

保育・療育・子育て支援など、いろいろな場面につかえる実践本。

内容：親子でのふれあいのうた、音楽あそびうた、ことばや数、他かんたんな学習内容を加味した知育音楽あそびうた。

<一般社団法人 発達支援協会 叢書8>



● 一般社団法人 発達支援協会 認定校・教室 ●

認定校

名古屋市【発語音楽研究所】

療育責任者：堀田喜久男

(発語音楽療法←検索)

認定教室

- 1 大阪府【さゆり音学院】 主宰者：土田靖子
- 2 愛知県【SiSiDo Music room】 主宰者：央戸理恵
- 3 京都府舞鶴市【でんでんむしの会】 主宰者：松浦光子
- 4 三重県【樋口音楽教室】 主宰者：樋口なおみ
- 5 福岡県行橋市【ことばの音楽教室】 主宰者：工藤知子
- 6 福岡県遠賀郡【りずむの木】 主宰者：石井純子
- 7 京都府舞鶴市【さがん発語音楽教室】 主宰者：目美香
- 8 大阪府枚方市【安宅ことば音楽療法教室】 主宰者：安宅千世子
- 9 東京都江戸川区【ことば音楽療法 あ・い・う・え・お】 主宰者：嬉 利恵
- 10 愛知県碧南市【ひだまり教室】 主宰者：小笠原清恵
- 11 福岡県行橋市長木【ことばの♪パッソ♪教室】 主宰者：松尾範子
- 12 兵庫県芦屋市【きじ猫 音楽工房】 主宰者：上野奈央
- 13 愛知県常滑市【長鎌音楽教室】 主宰者：長鎌明美
- 14 大阪市都島区【音楽セラピーみゅーじっくらんど】 主宰者：末吉裕美
- 15 大阪府八尾市【どれみんと】 主宰者：馬場富美江
- 16 大阪市平野区【一般社団法人みらい ぴっころ】 管理者：森嶋裕子
- 17 岐阜県大垣市【music room SORA】 主宰者：兒玉貴栄
- 18 千葉県習志野市【千葉ことば音楽教室】 主宰者：小林紳一



千葉ことば音楽教室

※各教室へのご連絡はホームページ『ことば音楽療法』をご覧ください。

ことば音楽療法士 認定者 ▶165名 (受講中も含め) H30年4月現在

ことば音楽療法の認定校・教室です。教室か事務局にお問い合わせください。
認定校・認定教室を全国にて募集しております。 TEL & FAX : 052 (505) 5255

一般社団法人 発達支援協会 事務局

〒452-0821 名古屋市西区上小田井2-98 JHTA内 TEL & FAX : 052 (505) 5255

ことば音楽療法 日本ことば療法学会

検索